令和８年度　東海市立富木島中学校　経営方針・教育目標

１　学校教育目標達成への方策について

富木島中学校に通う生徒を、郷土の偉人である細井平洲先生の教え「学思行　相須」と良忍上人の教え「一人一切人、一切人一人」を実践する人間へと成長させるために、地域・保護者・教職員が協働して教育活動を展開するとともに、東海市民と東海市の進歩発展に貢献する。

(1) 教育目標

【めざす生徒像】
- **◆自らを律し行動する ･･･**
- **◆他者を尊重する･･･････**
- **◆前向きに考える･･･････**

＜校訓＞
自学（自ら学ぶ態度をとる）
真心（真心を行動で示す）　※先施の心
鍛錬（進んで心身を鍛える）

(2) 重点努力目標

みんなのことを考え、みんなのために行動する生徒の育成

ア　生活の基盤となる日々の指導を丁寧に行う【基盤作り】

○行動のベースとして、全体を意識して行動する心情を育む。
○ルールを守る意識を育み、学習規律と生活習慣の確立を図る。
○いじめ根絶のため、からかい・嘲笑・非難の排除に努める。
○生徒の小さな変化を見逃さないために、生徒・保護者とのこまめな対話を心がける。
○清掃活動に誠実に取り組ませる。

イ　常に目的、ねらい、意義を明確にし、意識させる【種まき】

○行事の目的、ねらいを明確に意識付けさせることで、教育効果を高める。
○毎時の授業においても、本時や単元のねらいを意識付けさせ、有意義で愉しい授業を実施する。
○振り返り活動において、ねらいの達成状況を考えさせる。
○道徳、特活、ＨＴ（総合的な学習）を活用し、人としてのあり方や生き方を考えさせる。

ウ　教員同士がつながる【チーム富木島】

○生徒指導部会を中心に、３年間を見通した生徒指導を全校職員共通認識で行う。
○不登校生徒について、担任にのみとならぬよう複数人のチームとして対応する。
○互いの授業を参観する機会を増やし、相互の授業力の向上を図る。
○教員同士の意見交換、語り合う機会の確保に努める。（現職教育、学年会）

エ　保護者、地域に発信する

○地域のボランティア活動への積極的な参加を促す。
○行事や学校公開を日頃の教育の成果を示す場として再認識して取り組む。

オ　働き方改革をさらに推進する

○校務の効率化を図る。
・資料のデータベースやＩＣＴを積極的に活用する。（データの積み上げと活用）
・日課、年間計画を見直し、事務作業時間の確保を図る。
・業務削減のさらなる洗い出し（指導部会）

○ワークライフバランスを考慮し、働き方に対する意識改革を図る。
・在校時間の意識化とともに、学期に一日は平日の年休取得に努める。
・月に２回の定時退校日を設ける。